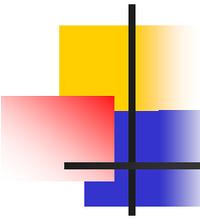


ミッド・キャリア層の再就職支援 「キャリア・インサイトMC」の開発

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
室山晴美(E-MAIL:hmuro@jil.go.jp)

1. キャリア・インサイトMCとは

- **CACGs** (Computer Assisted Careers Guidance System)として開発したPCによるキャリアガイダンス・システム
- ミッド・キャリア層 (35歳以上で就業経験のある層) の再就職や定年退職後のキャリア設計を支援。
- 若年版の「キャリア・インサイト」と連続して利用できるシステムとして開発。



2. 開発のプロセス

- 公的な職業相談機関へのヒアリング
- 調査
 - ・第1回調査 2005年 (男性1086名、女性1153名、計2239名)
 - ・第2回調査 2006年 (男性1044名、女性1031名、計2075名)

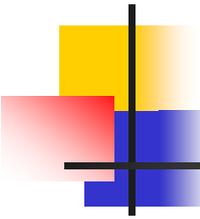
■ システム開発

- ・ 版の作成 試行実験
- ・ 版の修正 版の作成 版の試行実験
- ・ 版修正 最終版完成(2007年3月)

■ 配布

- ・ 公的機関に配布(2007年5月～) 現場での運用
- ・ 完成版の評価(ハローワーク職員に対して継続して実施中)

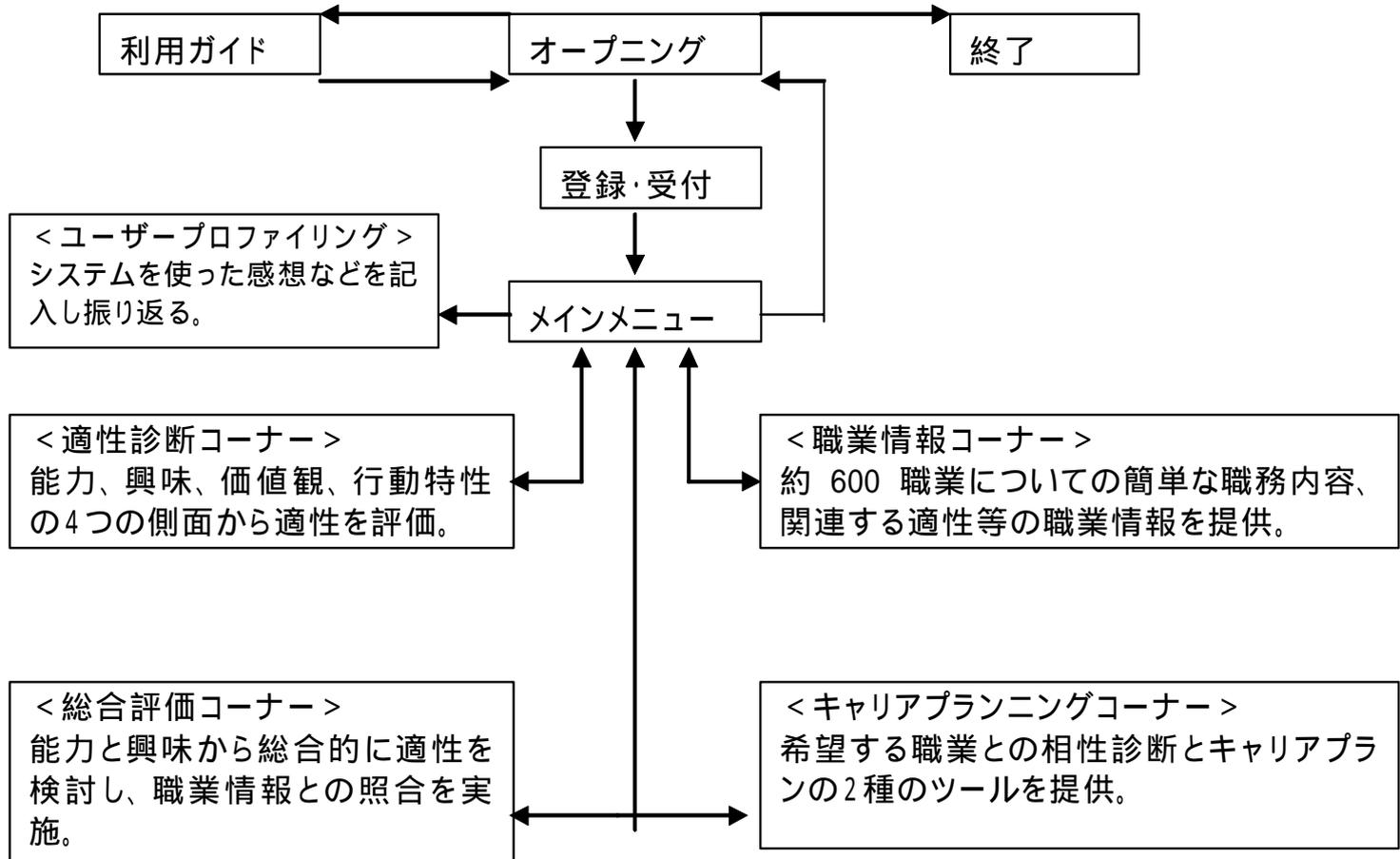
■ 研修の実施



3. ミッド・キャリア版の特徴

- 幅広い年齢層に使いやすいシステムとしての操作性の高さ。
- ミッド・キャリア層(年齢が高く、職業経験あり)に必要なガイダンスの特性を意識して開発(日常生活の興味の把握、行動特性評価、キャリアプランの新規作成)

4. システムの概要



図表1 システムの構造

5. 各機能画面サンプル



図表2 オープニング画面



図表3 メインメニュー画面

適性診断コーナー (興味評価の例)

職業興味の評価

ここでは、職業に関連する興味の内容域に対する、あなたの興味の程度を調べます。

以下の項目についてご回答いただきます。

- 職業に関連する活動や仕事についての興味の程度。(30項目)
- 日常生活のさまざまな活動や行動についての興味。(56項目)

職業結果として、以下の情報が得られます。

- 職業興味や日常生活の基礎的志向性の特徴
- 興味の高さの傾向や今後のキャリアに関するコメント
- 興味プロフィールに含められた職業リスト

興味の内容域	日常生活の基礎的志向性
研究的好奇心 (R)	対情報志向 (CI)
研究的好奇心 (I)	対人志向 (PI)
社会的興味 (A)	対物志向 (TI)
社会的興味 (S)	
企業的好奇心 (E)	
基礎的好奇心 (C)	

職業興味から領域や日常生活の基礎的志向性の内容が知りたい場合は、下の「興味解説」ボタンをクリックしてください。

図表4 興味評価・説明画面

職業興味の評価

次に示されている作業をやってみたいかどうかで答えてください。回答はご自分の気持ちから、あなたに最もあてはまるところをクリックしてください。

- 工場勤務で、ブルドーザーやクレーンで運転する
- 新製品を発見するための実験や研究をする
- 洋服やアクセサリーのデザインをする
- 搾乳機で乳製品の使話をしたり、いっしょに遊んだりする
- 新しい知識を得って、リーダーとなる
- 会社で最新のコンピュータを使い、電話の取り次ぎをする

興味あり 興味なし 興味不明

図表5 興味評価質問画面

行動特性の説明画面とプロフィール例

職業適性診断システム・[行動特性評価(4F)]

インサイトナビ

選任診断コーナー——行動特性の評価

CAREER Insights^{MC}

ここでは、仕事をする上で起こるいろいろな状況で、あなたがどのように行動するかを調べます。

以下の項目についてご回答いただけます。

- あなたの思考の傾向の基礎的な特徴と方向性 (20項目)
- あなたが呼び寄せられるイメージ (14項目)
- あなたが尊敬とする対人関係タイプ (15項目)

回答結果として、以下の情報が得られます。

- 自分の過去経験を客観的にとらえるタイプか、感情的に評価するタイプか
- 自分が働きたいと思う職業イメージが、社会的な価値観を重んじるタイプなのか
- 自分が得意とする対人関係の種類は何か、など

行動特性の3つの観点

- 過去経験に対する考え方や受け止めの特徴
- 自分が合った職場の環境的特徴
- 自分に合った対人関係の特徴

図表8 行動特性評価・説明画面

職業適性診断システム・[行動特性評価(プロフィール)]

インサイトナビ

選任診断コーナー——行動特性の評価

CAREER Insights^{MC}

プロフィール(基礎的性格特性・思考特徴)

●基礎的性格特性・思考特徴

ストレスへの耐性	41.8%
変化への欲求	32.8%
経験への肯定感	1.7%
自信のある態度	37.8%

●プロフィールの見方

このプロフィールは、あなたの過去の経験や現在の状況に基づいて、あなたに最適な対人関係のタイプを提案しています。あなたの現在の状況や価値観に基づいて、最適なタイプを提案しています。あなたの現在の状況や価値観に基づいて、最適なタイプを提案しています。

●解説

日常生活や仕事上でつらい経験をすると、内容によってはあまり悩みませんが忍耐で対応できる傾向を示しています。この傾向や様々な場面での経験などの環境変化が軽減されない限り、このような変化状況にも対応できる冷静な傾向を示しています。

過去に経験した仕事上の経験については、あなたの得意な評価をするタイプです。経験の追加的な変化だけでなく、過去の経験に基づいて現在の状況を評価することがあります。

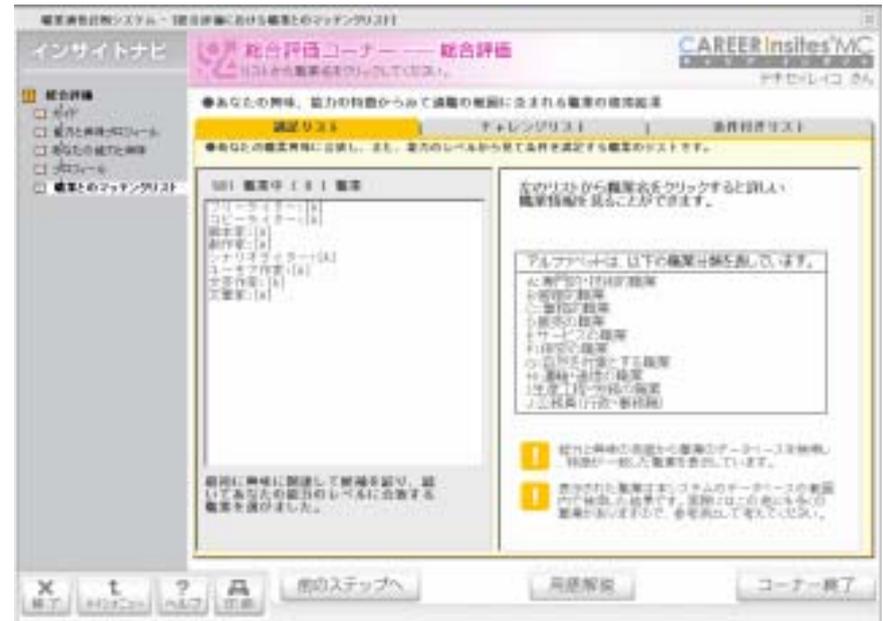
過去に経験した仕事上の経験については、適切な評価をもって冷静な傾向を示しています。今後も自分の過去の経験の様々な場面から学ぶことが重要です。

図表9 基礎的性格特性・思考特徴

総合評価コーナー



図表12 能力と興味の総合評価



図表13 総合評価による適職リストの作成

職業情報コーナー

職業情報コーナー

職業名:

仕事の分野:

仕事の下位領域:

仕事の内容:
正式な職種名は「デザイナー」(型紙を作成する人)で、洋服の型紙を作成する仕事を行う。また、デザイナーの役割するイメージを理解し、具体的な見本「サンプル」を作成し、それを実際の着せかえ型紙を使ってチェックした後、実際の型紙の製作を行う。工場での生産の段、縫製の方法などを詳しく指示した「縫製仕様書」を作成する。主要制作を学ぶ専門学校を卒業した後、アパレルメーカーに勤めるのが一般的。

資格:
〈業界認定〉資格を取ったり、専門の学校に通って特製の知識・技術を身に付けると就業が無条件な場合(例) デザイナー

職業者数: 10万人以上〜30万人未満

男女比率: 男性が大半を占める

参考文献: 日本労働研究機構編「1から7「職業ハンドブック」

【参考資料】職業者数および男女比を算出した職業カテゴリ
 印刷制作関係 「平仮名印刷関係」 その他の印刷・複製製品製造作業

職業分類コード: E55-10

特に関連する能力:
- ボンディング [10]
- アドモグラフィック [10]

関連が強い能力:
- リーダーシップ [10]
- コミュニケーション [10]
- リサーチ＆アナライズ [10]

関連する興味領域:
- 芸術的 [A]
- 機能的 [C]
- 視覚的 [D]

印刷 閉じる

図表16 個別職業情報の画面

希望する職業との相性診断

職業情報システム - 希望する職業との相性診断(仕事分野の選択)

インサイトナビ

キャリアプランニングコーナー - 希望する職業との相性診断

CAREERinsites MC

項目を選択して2つのステップ(画面)を行ってください。

1. 仕事分野の選択
初めにあなたの希望する仕事の分野を一つだけ選んでください。

2. 仕事の領域の選択
次に、具体的な仕事の領域を一つだけ選んでください。

希望する職業との相性診断

希望する職業の相性診断
 希望する職業の選択
 希望する職業の領域の選択
 希望する職業の相性診断

A. 専門的・技術的職業

B. 管理的職業

C. 事務的職業

D. 販売的職業

E. サービスの職業

F. 保安の職業

G. 自然を対象とする職業

H. 運輸・通信の職業

I. 生産工程・労務の職業

J. 公務員(行政・事務職)

自然科学系研究者
人文・社会科学系研究者
技術者
医療・保健・社会福祉の職業
法務・経営の職業
教育の職業
建築・マスコミ関係の職業
デザイン・広告の職業
芸術の職業
プロスポーツの職業
その他の専門的職業

前のステップへ 次のステップへ

図表17 希望する職業との相性診断

希望する職業との相性診断

職業適性診断システム - 1希望する職業との相性診断-職業の選択

インサイトナビ

CAREERinsites^{MC}

キャリアプランニングコーナー - 希望する職業との相性診断

あなたが選んだ仕事の分野と仕事の領域に該当する職業リストを作成しました。

「あなたの選んだ職業リスト」の中に、あなたが希望したい職業名が含まれていない場合は、「その他の職業リスト」より職業名を選択し、「追加」ボタンを押して追加してください。

希望したい場合は「削除」ボタンを押してください。

●あなたの選んだ職業リスト(24件)

- アフターサービス
- 給水作業
- IT設備整備業者
- IT設備保守
- 接客業
- 営業レポーター
- 製作業
- コピーライター
- 雑誌編集
- 雑誌編集者
- 読者
- シニアコピーライター
- ジャーナリスト
- 新聞記者
- 政治評論家
- テレビプロデューサー
- ニュース解説員
- ニュースキャスター
- ブロードキャスター
- アナウンサー

← 追加

削除 →

●その他の職業リスト(45件)

- アーティスト
- 印刷工
- IT製造工
- ソフトウェア
- 老人ケアサービス/福祉
- 医師
- 公務員
- 一般事務員
- 一級建築士
- 建築士
- 建築現場監督/PM
- イラストレーター
- 監査事務員
- 民間インフラエンジニア
- 打楽器
- 飲食店
- インテリアデザイナー
- 編集者
- Webデザイナー

閉じる

図表18 希望する職業リストの作成

職業適性診断システム - 1希望する職業との相性診断結果

インサイトナビ

CAREERinsites^{MC}

キャリアプランニングコーナー - 希望する職業との相性診断

コーナー終了のお知らせ: 相性診断が終了しました。

●希望する職業群とあなたの適性との相性結果

職業名	あなたの職業傾向			あなたの職業内の特徴		
	社会的	芸術的	科学的	リーダーシップ	インテリジェンス	コミュニケーション
ITエンジニア	○	○	×	○	○	○
制作業	○	○	×	○	○	○
読者	○	○	×	○	○	○
接客業	○	○	×	○	△	○
営業	○	○	×	○	△	○
福祉関係	○	○	×	○	△	○
テレビプロデューサー	○	○	×	○	△	○
政治評論家	○	×	○	○	△	○

●リストの表示欄について

リストは、あなた自身の興味と能力に合致している職業に基づき表示されています。リスト上の矢印は表示されている職業名は、あなたの興味と能力が相性合致していることを示します。ただし、矢印はあくまで興味傾向の目安として表示されています。また、興味傾向が合致していない職業の横には「△」を付しています。その後、興味傾向が合致している、能力が合致性が低い順に並べ替えられます。

●解説

興味と能力と両方とも高いレベルで合致している職業に合致しているといえます。そのような職業の候補の仕事について、現実的な職業可能性を考えたみましょう。また、あなた自身が興味を持っていない職業が、あなたの適性から見てどのような点でこの職業に合致しているか、あるいは合致していないかを検討してみましょう。

閉じる

図表19 希望する職業と適性との照合

キャリアプラン(過去の振り返りと将来のキャリアプラン)

3. ライフイベントの入力

生活史法	学歴史法	職人生活
4年、大学編入、進学 専攻科 卒業 特選奨励賞	短期	短大(2年制) 専攻科 留年卒業
社会科科 卒業	予ての職業 専攻科卒業	本人の職業 留年卒業
正社員、10年 勤務の企業 仕事内容の変更		
パート 勤務		
パート 勤務		
パート 勤務		

図表20 キャリアプランの作成

キャリアプラン最終画面

生活史法	学歴史法	職人生活
職業生活 定年退職(定年55歳) 1年 大学編入 留年	短期	短大(2年制) 専攻科 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業
職業生活 専攻科(2年) 専攻科卒業 (1年)	短期 専攻科(短期)	本人の職業 留年卒業

図表21 キャリアプラン最終画面

6 . システムの活用

- 中高年齢者の多様なキャリア設計支援へ
必ずしも就職だけではない生き方へのヒント(職業興味、キャリアプラン)
- 再就職に行き詰まった時の自分自身の見直し(新たな興味、能力の発見)
- 相談での会話のきっかけ、糸口に

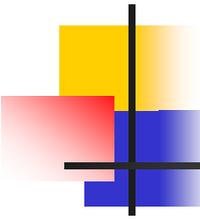
7. 利用者(求職者)の感想

- 「ご自分にとって、新たな発見や気づきはありましたか？」
- 今まで事務の仕事をしてきましたが、実は専門や技術の仕事の方に適性があるとわかりました。
- 自分の性格が再認識させられました。
- 自分が間違った職探しをしているみたいだと思った。
- 自分の希望する職業がわかり、とてもよかった。
- 事務職より専門職を探した方がいいという結果に驚いた。

8 . 相談担当者の感想

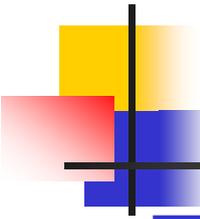
- キャリアプランは自分の棚卸しのようなことがやっ
ていて構えることもなくできてしまうのでいいと思う。
- 中高年の方がこういったシステムを受ける目的は
「興味がある」「向いている」より「自分は何の仕事
ができるのか」ということが多いので、評価のコメン
トも具体的に* *は無理とか分かった方がいいよう
に思いました。
- ある程度じっくりと仕事を探していきたい人(定年
に向けての相談や、初めての転職)に有効と感じた。

- 中高年の方の場合、「今からこんな仕事に就けるのか」と文句を言うことも多いので、対応の方法がわかるといいです。
- PCが苦手な方もいるので、運用していく中で、どれだけ分かりやすく職員が説明、解釈できるかが窓口での課題であると思いました。
- 一般の職業相談窓口で使うよりも予約制の就職支援の窓口で使う方がはるかに有効だと思いました。



9 . 今後の課題

- 現場での利用状況の把握 (意見、感想などの収集)
- システムを使った実験的なガイダンスの実施 (利用者からの意見の聴取)
- 効果的な使い方、問題点の検討
- 定期的なデータの収集 (次回の改訂に向けて)



10.提供について

- 現在は、ハローワーク、公的な職業相談機関、若年向けシステムの利用実績のある機関に限定配布。
- 10月以降一般販売の予定(社団法人 雇用問題研究会より) 手引き、CD-ROM